（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援　あんふぃに（放課後等デイサービスアンフィニグラン）		
○保護者評価実施期間	2024年12月10日	～	2025年3月　7日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）　30	（回答者数）	11
○従業者評価実施期間	2025年　3月　3日	～	2025年　3月　7日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）　6	（回答者数）	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年　3月　3日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちの個性を伸ばすことを意識した支援を行っている	子どもたちのやってみたいを積極的に採用し職員も一緒にやってみることで、子どもたちの新しいことへのチャレンジを育てていく。	新しいプログラムや、体験等を経験することで子どもたちの興味や個性を伸ばしていく環境を作り続けていく。
2	年齢の幅が広い職員層	子どもたちにとって幅広い世代の話を聞くことでいろいろな考え方を学ぶ場になっています。	いつも同じ職員と関わるのではなく、いろいろな職員と関われる環境を作っていく。
3	子どもたち同士で遊べる環境	職員と遊ぶではなく子どもたち同士で遊べるよう環境作りをしている。 子ども同士の世界観も大切にしていくことを心がけています。	今後は子どもたちの企画やプログラムを採用してしていきたいと思います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	年齢や学年によってはプログラムの時間が取れない時がある	平日は放課後利用になるため宿題を行うとプログラムを行えないことがある。	今後は短い時間で行えるプログラムの作成等の取り組みや工夫が必要と考えています。
2	地域の活動や施設外の人との関る場面があまりない。	地域で活動など参加できる場所の確認ができなかったため	長期休み等の中で地域の活動に参加できないか確認していく。
3			

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス　アンフィニグラン

公表日 2025年　3月　31日

利用児童数 2025年　3月　3日　　回収数 11

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	82%	9%	0%	9%		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	73%	0%	0%	27%		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	91%	0%	0%	9%		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	82%	18%	0%	0%		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	91%	0%	0%	9%		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	91%	0%	0%	9%		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	64%	18%	0%	18%		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	27%	0%	18%	55%		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	82%	9%	0%	9%		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	55%	18%	9%	18%		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	91%	0%	9%	0%		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0%	0%	100%	0%		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	91%	0%	0%	9%		

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	91%	0%	0%	9%	電話等で報告発信はある	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	91%	0%	9%	0%	連絡帳で発信はある	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	91%	0%	0%	9%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	82%	9%	0%	9%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	45%	18%	0%	36%	訓練を行っているならもっと発信してほしい	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	91%	0%	0%	9%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	91%	0%	0%	9%		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	91%	0%	0%	9%		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	91%	0%	0%	9%	いろいろなところのお出かけを楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	91%	9%	0%	0%		

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス　アンフィニグラン

公表日 2025年　3月　31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	下駄箱が不足している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	50%	50%	不足しているときがある	職員の採用を進めていきます
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	全面バリアフリー 活動応じて空間わけができている 視覚的にわかりやすい掲示を行っている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	衛生管理を徹底しています 換気、消毒を常に行う 活動に合わせて空間分けをしている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	クールダウンができるスペースがある 子供たちも配置の把握ができている リラックスできる	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	スタッフミーティングを行い 目標を皆でつくり、その過程を話し合う 共有しあう	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	意見をいただいた際は個別に 聞き取り把握と業務改善に努めている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	職員の意見声が聞きやすい 話しやすく風とおしの良い職場づくりを 心がけている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%	現在第三者委員会を設けていない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	月に一度、社内ミーティングの際に研修を行 う機会に合わせて外部研修も取り入れる	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	活動や支援内容は毎回ラインにて 保護者様に報告している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	本人・家族のニーズを確認し、成長と課題に合わせて計画書を作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	特性や年齢に合った、集団活動が行いやす いように個別のカリキュラムも充実させている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	50%	50%	更新した際に誰が更新した連絡がないときがある。	更新した利用者さんがいる際は朝の申し送りの際に共有時間をつくるように工夫していく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	アセスメント、日々の行動観察にて 適切な確認事項を行っている	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	具体的な支援内容の設定に 放課後デイサービスのガイドラインを 活用し内容を考えている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	50%	50%	担当の中で行っている。	今後は候補含め全員で行っていきたい
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	67%	33%	他施設などの見学等で固定化しないように工夫は行っている。	立案者が固定されればプログラムの固定化につながるので定期的な後退が必要となると考えてます。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	利用者さんの特性に合わせ集団なのか個別なのかの対応を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	支援が始まる申し送りにて共有を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	支援終了時に振り返りを行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	67%	33%		現状半年に一回の見直しでしかできていない
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	67%	33%		現状半年に一回の見直しでしかできていない
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	子どもたちへの最善な環境づくりを目標とし余暇活動や創作活動にて安心と安全を提供できる居場所づくりをしている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	子どものやる気を引き出すためにも 自主的な行動に繋げるためにも効果的 である。自己決定できている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	担当者会議には状況をよく把握した者が 参画し会議内容は即時に職員間にて 情報共有を行っている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	常に連携を行える体制づくりを している	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	67%	33%	特に行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）連絡調整は担任の先生と連携をとり情報共有によって円滑である	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	67%	33%	児童発達支援の相談員と密に連携を図り 情報共有、支援に役立てている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0%	100%	現状対象者がいない	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	0%	100%	現状センターとの関りができていない。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%	現状なし	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0%	100%	協議会の参加は機会がなく 参加経験がない 又機会がある際は積極的に参加していきたい	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	日々の支援内容の報告と保護者とのコミュニケーションを行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	67%	33%	送迎の際に個々で話はしている	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	67%	33%	契約時に行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	送迎や、必要に応じて電話等にて確認を行っている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	67%	33%	契約の際に、「重要事項説明書」を用 いて話を確認をしてから同意を得てい ます。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	保護者から相談を受けた際、適宜時間 を設け、面談や助言を行っています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	現在行えていない	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	83%	17%	対応は基本的に管理者や児童発達支援管理責任者が行っている。 また必要に応じて市役所や相談支援専門員にほうこくを行っている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	予約表や連絡帳にて発信を行っている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	鍵のかかる書庫にて保管	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	必要な伝達等は管理者や児童発達支援管理責任者からの報告を行っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%	行えていない	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	83%	17%	定期的に施設等を使い行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	67%	33%	定期的に施設等を使い行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	保護者報告の元確認をしている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	行っている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	避難訓練等は災害センター等を使いイメージできるようにい行っている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	契約時に確認を行っている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	朝の申し送りや終礼にて共有を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	67%	33%	計画的に研修等にて確認を行っている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	83%	17%	個別支援計画において記載している	